

佐世保市で酪農への理解醸成と牛乳の消費拡大 のためのキャンペーンが開催されました

6月1日は「牛乳の日」、6月は「牛乳月間」です。

令和8年6月29日（月）、長崎県酪農青年女性会議主催により、佐世保市長への牛乳・乳製品の贈呈、商業施設（させぼ五番街）での理解醸成活動が開催されました。

佐世保市役所では、佐世保市内の酪農家4名が出席し、宮島大典佐世保市長に出席者を代表して里村貴司さんから地元産の牛乳・乳製品を贈呈しました。



また、牛乳に加えて、出席の酪農家の皆さんが作られたチーズ、ジェラートを試食しながら、生産の現状や課題などについて意見交換を行い、宮島市長から市としても畜産・酪農の振興にできる限りの支援をしたいと激励されました。



その後、商業施設に移動し、消費者の皆さんに牛乳とパンフレットを配布し、酪農への理解醸成、牛乳の消費拡大をお願いしました。

牛乳を受け取られた方からは、「給食と同じ牛乳だ！」と懐かしむ声や酪農家を応援する声も聞かれ、用意された牛乳300パックは20分ほどでなくなりました。

